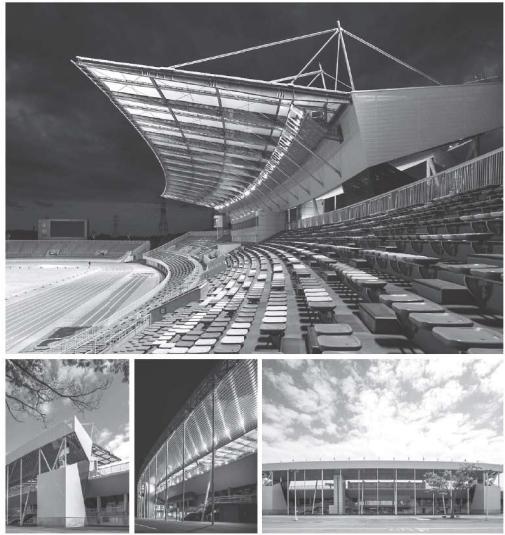


茨城新聞社賞[優秀賞] 笠松運動公園陸上競技場

●株式会社 三上建築事務所 住所／茨城県水戸市大町3丁目1番26号 電話／029-224-0606
●建物所在地／茨城県那珂市向山1282-1 ●建物用途／陸上競技場 ●構造／S造(屋根)造



2019年9月に茨城県で2度目となる国体が開催されます。1974年の初の茨城国体の際にイン会場として整備された笠松運動公園メインスタンドを再び「大会の顔」として整備し、開会式に天皇陛下をお迎えするためにメインスタンドの屋根を新調することとなりました。

スタンドの躯体に頼らない構造とすることと、ロイヤルボックスに雨がかかるないようにすることを前提としました。長さ100mの屋根

の両端に7.5m×7tの耐震コアを設け、キール梁で繋ぐことで20mの片持ち屋根を支持しています。県を縦断する六号国道からのアイン会場として整備された笠松運動公園メインスタンドを再び「大会の顔」として整備し、開会式に天皇陛下をお迎えするためにメインスタンドの屋根を新調することとなりました。

見上げて鏡面として、来場する人々や周囲の豊かな緑を映し出し、スポーツ観戦の興奮を増幅させるものとしました。

空に浮いて見える梁でスタジアムイメージ刷新



茨城県土木部長賞[優秀賞] アルカス土浦

●株式会社 INA新建築研究所
住所／東京都文京区白山3丁目1番8号 電話／03-5802-3211
●建物所在地／茨城県土浦市大和町1番1号
●建物用途／中央図書館、市民ギャラリー、文番、民間施設 ●構造／鉄骨造
●建築面積／4076.82m² ●延床面積／13,264.64m²



【住宅部門最優秀賞】中庭のある家

●株式会社 カナザワ建築設計事務所 住所／茨城県水戸市吉沢町1263 電話／029-246-6812
●建物所在地／茨城県水戸市 ●建物用途／専用住宅 ●構造／木造 ●建築面積／164.32m² ●延床面積／182.25m²

プライバシーを確保しつつ開け放す住まい

水戸市内の市街地にある敷地の為、3方向は既存住宅が隣接し視線が気になる状況にある。どのようにプライバシーを確保しつつ外部に対する開放的な空間をつくれるかが課題であった。南北に綾長の敷地の場合、南側にパブリック空間(LDK)北側にプライベート空間(寝室)を配置するのが一般的である。しかし今回は逆転の発想で南側に寝室、北側に開放的なLDKを中心とした大きな外部空間(中庭)を設けた。南側のプライベート空間を



コンパクトにし中庭及びLDKへの光が十分に入るようになした。道路からの視線を気にせずに大きな開口部を開け放すことが可能な住まいとなり、街中においても明るさ、開放感、プライバシーを同時に実現した。また、大きなガラス面には特にデザインした断熱ロールスクリーンを配置、冬のコールドドロフトを防いでいる。施主は、薪ストーブの炎とライティングされた庭を眺めながらゆったりとした家族団らんを楽しんでいる。

土浦駅西口の賑わいと市民の学習・交流拠点として開かれた施設づくり



公共の図書館と市民ギャラリーを核に民間施設も入る再開発事業である。駅前の賑わいと周辺活性化が求められた。1階イベントプラザから4階屋上ガーデンへと続く大階段「ステップガーデン」と、土浦駅市民役所ともペデストリアンデッキで繋がる立体公園のような施設は人々が行きかう風景を駅前に作り出している。市民ギャラリーは、本格的な展示と各種講座や教室に対応の2種類のギャラリーを設け多様な活動に応える「賑わいづくりのギャラ

リー」とした。図書館は、駅から繋がる2階正面に入口を配置。2階は通勤通学時や乳幼児連れでも利用しやすい立寄り型図書館。3階は豊富な資料と静かな閲覧環境、充実したレブレンスサービス。4階は学習室とコミュニケーションベースを設けた学習交流空間である。ハイサイドライトから静かな光が降り注ぐ吹抜けが各階を繋ぐ空間構成で、見る見られる学びと交流の風景が駅前に広がる「交流の図書館」のイメージとした。